

# 令和7年度クマ特別対策実施に係る成果検証

実施主体 鹿角市鳥獣被害防止対策協議会

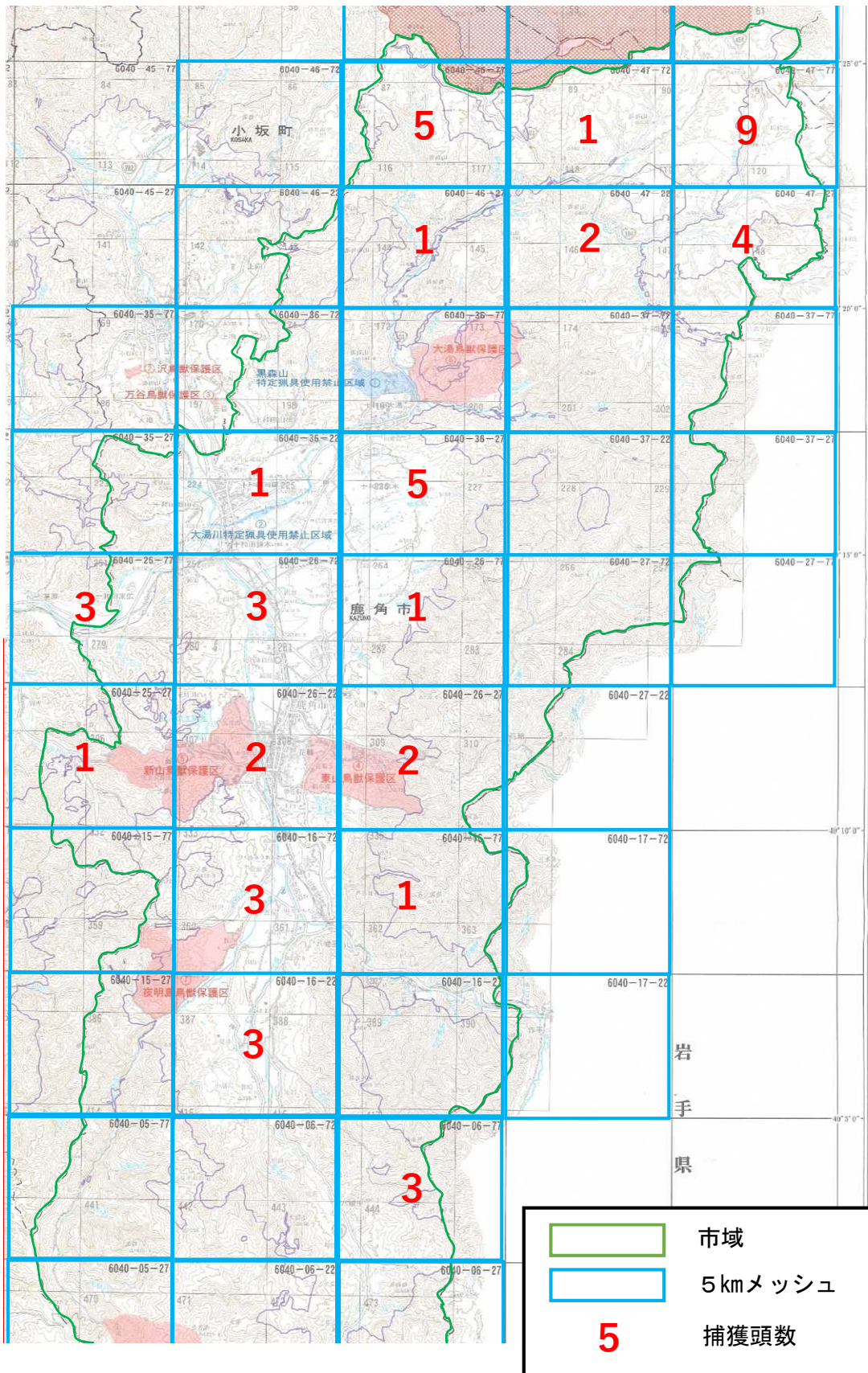
捕獲目標に対する事業成果（捕獲効率含）

1. 捕獲体制（捕獲者） 令和7年度クマ特別対策実施に係る鹿角市捕獲計画（以下、「計画」）のとおり
2. 捕獲期間 令和7年8月1日～令和7年11月30日（122日間）
3. 捕獲方法 計画のとおり
4. 捕獲頭数 201頭（全体捕獲頭数305頭のうちクマ特対象頭数）
5. 目標対比 670%（目標30頭）
6. 捕獲効率
  - (1) 令和6年度における同時期（R6.8～R6.11）の捕獲頭数25頭に対し、期間中の実施隊捕獲活動人数（延べ）1,653人から出勤人数あたりの捕獲率は約1.51%。
  - (2) 令和7年度捕獲頭数（クマ特捕獲分R7.8～R7.11）201頭に対し、期間中の実施隊捕獲活動人数（延べ）2,409人から出勤人数あたりの捕獲率は約8.34%。
  - (3) 5kmメッシュでの捕獲状況について、令和6年度に捕獲があったメッシュは50区画のうち17区画であったのに対し、令和7年度は22区画となり、前年度に捕獲が無かったメッシュが5区画増加した。また、令和6年度と比較し、5区画のメッシュで減少したものの、17区画で増加となった。（図1-1、図1-2、図1-3 参照）

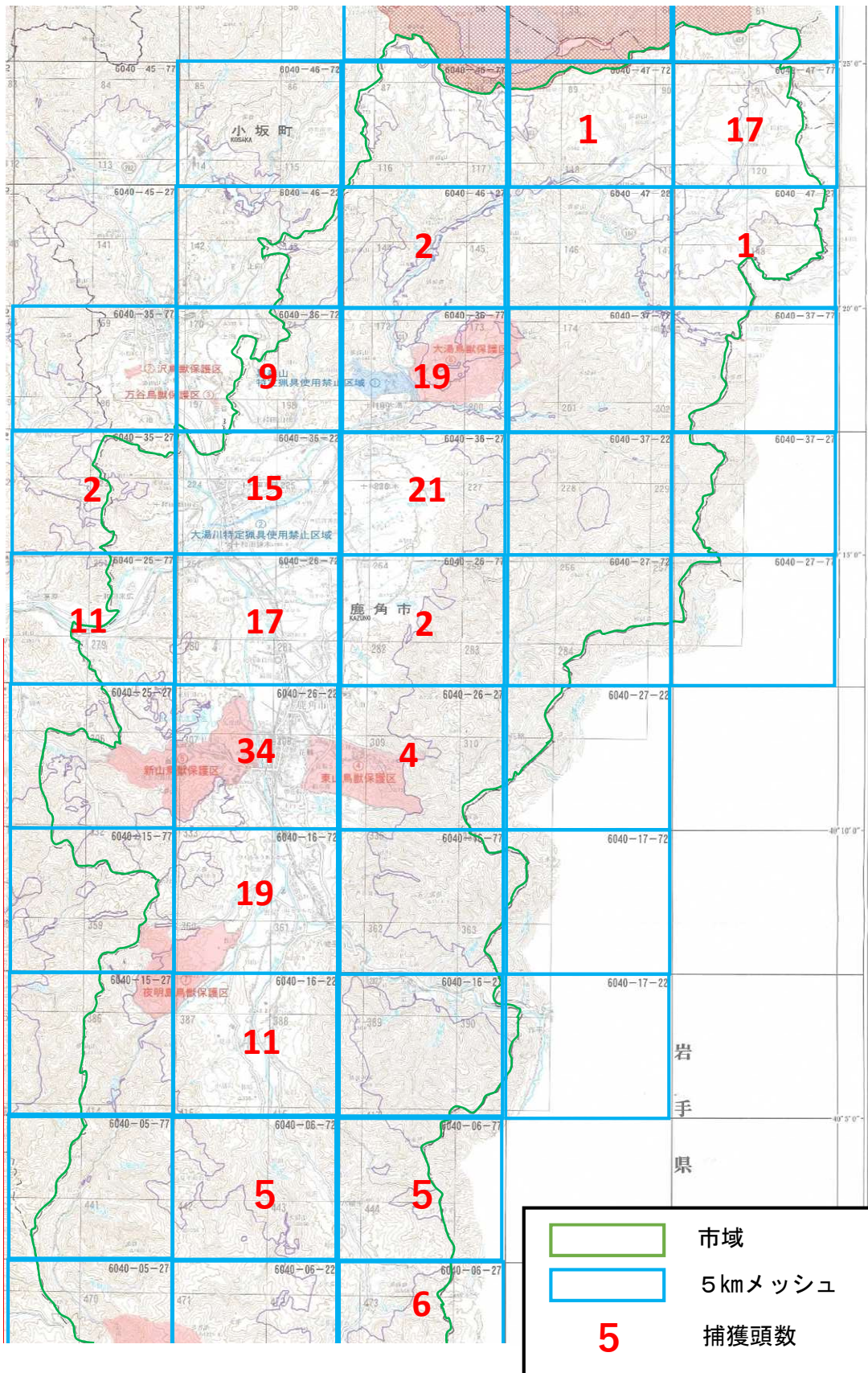
上記の（1）～（3）から、令和7年度（R7.8～R7.11）の捕獲効率は令和6年度の同時期（R6.8～R6.11）と比較し、捕獲率は約5.5倍、捕獲頭数は8倍と大幅に増加した。また、捕獲区画は5区画増加し、捕獲範囲の拡大が図られる等、捕獲効率が大きく向上した。

要因の1つとして、実施隊の多大なる貢献を大前提としたうえで、トレイルカメラを新たに20台導入し、箱罠付近に設置することでツキノワグマの生息状況調査及び捕獲状況等を遠隔で確認し、実施隊と情報共有することで箱罠の見回りや給餌等の捕獲活動の効率化が図られ、捕獲範囲の拡大及び捕獲頭数の増加に寄与したものと考えられる。

【図 1 - 1】 令和 6 年度クマ捕獲頭数マップ  
(市有害捕獲分)



【図 1 - 2】 令和 7 年度クマ捕獲頭数マップ  
 (クマ特対象期間R7.8~R7.11)



# 【図1-3】令和7年度 前年度捕獲頭数増減マップ

(【図1-1】と【図1-2】の比較)

